

「大阪府建築士会シンポ」で 杉対応「木割れ最強釘」PR 25年万博向け受注目指す

アマテイ

釘のトップメーカー、アマテイ（本社・兵庫県尼崎市、社長・佐藤亮氏）は1日、大阪工業大学梅田キャンパスOIT梅田タワー

常翔ホールで開催された、大阪府建築士会が主催するシンポジウム「水都大阪の未来を拓く、在宅福祉とウォーターフロントの革新」に参加した。2025年の大阪・関西万博の

木造建築物など向けに、杉など国産木材に特化した新製品「木割れ最強釘Ⅱ杉対応」をPRした。

同イベントは3年後の万博開催を迎えるにあたり、大阪の未来を

考える契機とするもの。パビリオンなどへ

国産木材の活用を訴える大阪府木材連合会も出展しており、木材を釘で強固に接合する構造材NLT（Nail-Laminate'd Ti

呼び掛けた。ウッドシヨックや輸入木材の価格高騰を受け、木造建築に国産木材を使用する動きが広まっている。アマテイは木造建築パビリオンなどでのNLTにおける同社の釘製品の採用を狙う。

「木割れ最強釘Ⅱ杉対応」は、木材への打ち込みで長けた特許取得製品「木割れ最強釘」シリーズの一つで、国産木材の中でもポピュラーな杉向けに開発された。担当者は「国内森林資源の循環サイクルの活性化に寄与し、万博のテーマでもあるSDGsの実現に貢献したい」と話す。



多くの建築士や関連企業が訪れたアマテイのブース